



海外の小中学生と交流！ ～第1回 Skype 英会話授業～

津市教育委員会 教育研究支援課

スカイプを活用した交流事業

「先生、ちゃんと話せるかな？昨日も家で何回も練習したけど、自信がないの。通じなかったらどうしよう。」
「アニメなら、大丈夫！釘づけになるはず！！」「オーストラリアには給食がないから、給食の写真を見せたらどうかな？」オーストラリアの交流相手校の生徒たちへ、英語で津市や日本の紹介を行うために、西橋内中学校の生徒たちは、不安そうな表情を浮かべながらも、目を輝かせて、一生懸命準備しました。

津市教育委員会では、平成28年度より、津市の児童・生徒が実践的な英語力を身に付ける試みの一つとして、「インターナショナル・スカイプ交流事業」に取り組んでいます。これは、津市の市立小学校5～6年生と中学校1～3年生が、時差の少ないオーストラリアやニュージーランドなどの小中学校の児童・生徒と、スカイプを活用して英語で交流する事業です。

「学んだ英語を実際に使い、自分の思いを英語で伝える経験をする」、「海外の友達に“英語が通じる”喜びを体験する」、「英語でコミュニケーションすることで何が出来るか」を体感する」ことで、「津市の児童・生徒たちの英語を学ぶ意欲や興味を引き出したい！」と、津市の小中学校の教員や外国語指導助手（ALT）から上がった声を実現化する形で生まれた事業となりました。折しも、三重県での伊勢志摩サミット開催が決定し、G7を筆頭とする海外の国々に子供たちの関心も向いている絶好のタイミングでした。

クレア シドニー事務所

時差の少ないオーストラリアやニュージーランドなどの小中学校から相手校を選定するにあたり、まずは交流に興味のある学校を探さなければなりません。色々な手段を探る中で出会ったのが、一般財団法人 自治体国際化協会（クレア）シドニー事務所のウェブサイトでした。

シドニー事務所には、オーストラリア・ニュージーランドと日本の学校から、交流希望が寄せられるということで、交流を希望する学校が自校の簡単な紹介と担当者の氏名・連絡先を記載した「学校交流希望調査票」をウェブサイトに掲載しています。「条件が合う学校、興味のある学校がありましたら、直接担当者で連絡を取り合って、交流を進めてみましょう！」という言葉に従い、津市の小中学校と交流出来そうな学校の担当者にメールで連絡を取ったのが始まりでした。オーストラリアの学校には、日本語を教えている学校も多く、「日本語だけではなく、文化や価値観について生徒に学んで欲しい」「日本語の上達を目指すとともに、グローバルな視点を育てたい」「日本に関心を持ってもらい、日本語で話すことに興味を持ってもらいたい」と担当の先生も熱心です。

津市ではスカイプ英会話交流を希望する小中学校に募集をかけ、小学校2校、中学校2校が最初の交流校として決定しました。オーストラリアの交流相手校は、こちらからのメールに返信してくれた学校の中から、交流のタイミングが合った学校順に津市の小中学校を紹介していきました。お互いの長期休暇の日程が違うので交流日を決定したくてもなかなか連絡が取れず調整がつかなかったり、オーストラリアの一部地域で学校が使用するインターネットに規制がかけられている事や、クラス単位でスカイプを通して話すにはパソコンの画像を大型テレビやスクリーンに映しだし、音声もマイクを使用して全員に聞こえやすいようにする必要がある事が担当者間でのスカイプを使った打ち合わせでわかったり、色々な事を乗り越えてようやく津市の西橋内中学校とオーストラリアのペノラ校の交流日が決まりました。

5月19日 キックオフ

西橋内中学校2年1組の生徒31名は、第1回スカイプ英会話交流日までに、色々な取組を行いました。まずは、一人ひとりがオーストラリアから連想される言葉



オーストラリア ペノラスクールの皆さん

をどんどん紙に書いていくマインドマッピングに始まり、その後グループに分かれて、オーストラリアに関するブレインストーミングで一人では思いつかなかったオーストラリアの側面を学びました。そしてその後、津市のALTでオーストラリア出身のCaityが、Power Pointを使って分かりやすくオーストラリアの紹介をする時間を取りました。Caityの説明に対して、たくさんの質問が飛び、英語教員は「今日Caityが説明してくれた以外のことで、オーストラリアについてわからない事があったり、知りたい事があれば、ぜひペノラ校の生徒にスカイプで聞いてみましょうね。」と、交流当日まで盛り上げました。

当日を迎え、寸前まで緊張していた西橋内中学校の生徒たちは、本番が始まると練習してきた英語を使い、ペノラ校の生徒たちに津市や日本について紹介することに集中しました。司会の生徒による交流開始の挨拶も、教頭先生の挨拶も、もちろん英語です。オーストラリアのペノラ校の担当教員と校長先生は、日本語で挨拶をして下さり、ついに交流スタートです。西橋内中学校の生徒はグループに分かれて、日本の食べ物や文化、津市のB級グルメである「津ぎょうざ」やゆるキャラ「シロモチくん」の紹介に、一生懸命でした。この日は、初のスカイプ交流授業ということで津市長による見学があり、また、テレビ

や新聞の取材も入ったことで、生徒達にとっては緊張する環境でしたが、これまでの準備がきちんと生かされ、時間が来て司会者が終わりを告げると、オーストラリアからも日本からも別れを惜しむように「Good Bye!」「See you soon!」という声が飛び交い、両校の生徒たちのつながりを感じた交流会が終了しました。

今後の交流の継続

今後、西橋内中学校に続き、津市では美杉中学校、修成小学校、豊が丘小学校がオーストラリアの相手校とスカイプ交流をスタートさせます。学校、校長先生、担当教員によって、交流の内容はさまざまです。外国籍の児童がいる小学校では、オーストラリアとのスカイプ交流をきっかけにその児童の出身国にも視野を広げたいと思っています。また、これまで学校で行っていた異文化交流学習の実践としてスカイプ交流を希望している学校もあります。

学校行事や通常カリキュラムとの時間調整、インターネット接続環境の設定など、さまざまな調整が必要ですが、細く長く続けることでいつか津市の児童・生徒の中から「交流相手に会いに行きたい」「オーストラリアの大学に進んでみたい」などという声があがる将来を夢みながら、“国際交流に強い人材”の育成の第1歩として、子ども達にとって世界が活躍の場となるように、このスカイプ交流事業を継続的に取り組む所存です。



スカイプ英会話授業の様子